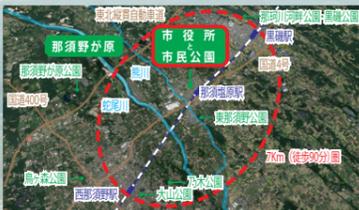


『市民公園』がつながり開かれた『みどり』の市役所



那須塩原をつなぐ市民公園
敷地は田園から都市へと遷移する那須野が原の扇端に位置し、新しい市民公園が田園と都市、西那須野と黒磯、公園や河川などの環境資源(グリーンインフラ)をつなぐ、地域のウォークラブルなハブとして機能する市役所を提案します。

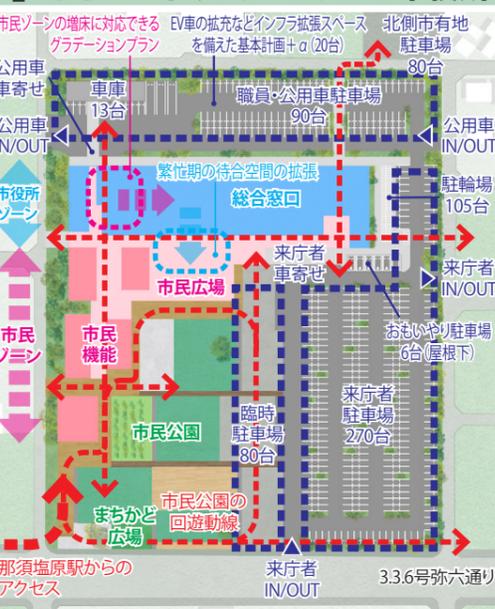


那須連山(茶臼岳)

那須連山を臨むダイアゴナルな眺望の確保

那須塩原の雄大な山並みを引き立てる水平性の高い外観

1 まちをつなぐウォークラブルな市役所



まちの回遊性を高める明快な歩車分離

・車動線を北と東側に集約、西側の広場や市民機能を歩行者に開放し、安全で快適な歩行空間がまちの回遊性を高めます。

総合窓口と市民機能を1Fに集約したユニバーサルプラン

・市民の利用頻度が高い総合窓口とすべての市民機能を1Fに集約し、上下移動が不要で、視認性が高く、分かりやすいバリアフリーなプランニングを徹底します。
・整形の総合窓口は見通しが良く、庁内WGによる総合窓口検討の自由度を飛躍的に高めます。また、繁忙期には待合空間を市民広場へ拡張でき、ハイレベルな窓口サービスを提供できます。

将来変化に柔軟に対応できるグラデーションプラン

・西側に延びる市民機能とユニバーサルレイアウトの総合窓口は互いに交換可能なプランニングであり、ABWやワーケーション、DXや組織改編等による市民ゾーンの増床に無理なく柔軟に対応できます。

2 まちににぎわいを広げる列状配置

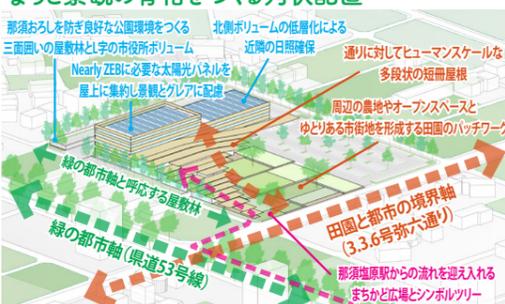
地域に根ざしたコミュニティがつくるまちづくりのきっかけ
・田園で育まれた列状集落に学び、みちと短冊状のスペース、オープンスペースが連動し、にぎわいがまちへと広がっていく、地域に根ざした新しいまちづくりの拠点をつくります。



まちと田園が育んだ列状集落のコミュニティ

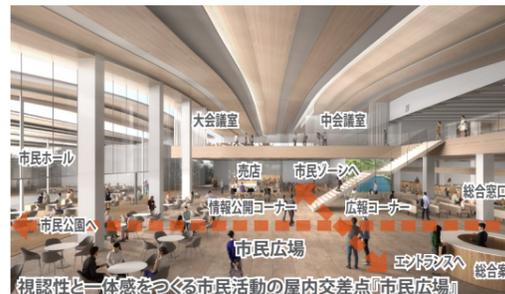


まちと景観の骨格をつくる列状配置



3 まちに開かれた市民の活動拠点

まちのリビングでありワーキングスペースでもある『市民公園』
・窓口待合・呼出のICT化や市民公園全域のWiFi整備により、市民も職員も様々な場所でフリーアドレスに憩い、ウェルネスに活動できる市役所です。



休日開放時セキュリティライン

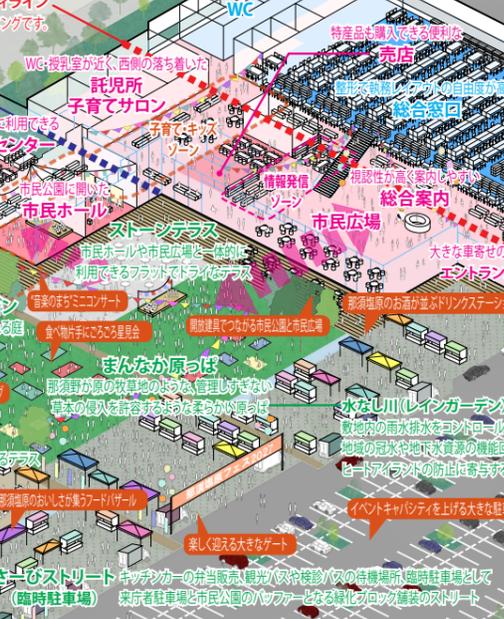


4 まちの気候変動を食い止めるグリーンインフラ

那須塩原の環境資源を支えるサーキュラーな市民公園
・日本最大の扇状地「那須野が原」が形成する豊かな環境資源(田園、那須おろし、水無し川、屋敷林)とGX(木や石などの県産材利用、ZEB、IT)を組み合わせた革新的なグリーンインフラの市民公園を整備、地域へと広がっていくサーキュラーなまちづくりを、日本遺産「那須野が原開拓浪漫譚」を下敷きに那須塩原固有のナラティブな環境メッセージとして世界へ発信します。



市民公園や那須連山を臨むバリアフリーな「開かれた議会」



4 まちの気候変動を食い止めるグリーンインフラ

那須塩原の環境資源を支えるサーキュラーな市民公園
・日本最大の扇状地「那須野が原」が形成する豊かな環境資源(田園、那須おろし、水無し川、屋敷林)とGX(木や石などの県産材利用、ZEB、IT)を組み合わせた革新的なグリーンインフラの市民公園を整備、地域へと広がっていくサーキュラーなまちづくりを、日本遺産「那須野が原開拓浪漫譚」を下敷きに那須塩原固有のナラティブな環境メッセージとして世界へ発信します。



市民公園や那須連山を臨むバリアフリーな「開かれた議会」



那須連山(茶臼岳)